

第1期決算公告

2021年5月25日から

2022年3月31日まで

株式会社長谷工ホーム

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

株式会社 長谷工ホーム

単位:千円

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,083,824	流動負債	14,920
現金預金	229,932	工事未払金	1,277
仕掛販売用不動産	846,043	未払金	1,349
前払費用	48	未払費用	268
未収入金	7,800	前受金	10,000
		未払法人税等	150
		賞与引当金	1,875
		固定負債	1,001,000
		長期借入金	1,001,000
固定資産	10,942	負債合計	1,015,920
(投資その他の資産)	10,942	(純資産の部)	
保証金	10,000	株主資本	78,847
繰延税金資産	942	(資本金)	100,000
		資本金	100,000
		(利益剰余金)	△21,152
		その他利益剰余金	△21,152
		純資産合計	78,847
資産合計	1,094,767	負債・純資産合計	1,094,767

損益計算書

(自 2021年5月25日 至 2022年3月31日)

株式会社 長谷工ホーム

単位:千円

科目	金額	
販売費及び一般管理費		26,574
営業損失		26,574
営業外費用		
支払利息	3,172	3,172
経常損失		29,746
税引前当期純損失		29,746
法人税、住民税及び事業税	△7,650	
法人税等調整額	△942	△8,593
当期純損失		21,152

個 別 注 記 表

自 2021 年 5 月 25 日

至 2022 年 3 月 31 日

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

不動産事業支出金 個別法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。

販売用不動産 個別法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。

2. 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法（ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（付属設備を除く。）は定額法）を採用しています。

② 無形固定資産

定額法を採用しています。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について貸倒実績率より計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

賞与引当金 従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上しております。

4. 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点は以下の通りであります。

当社は不動産事業を営んでおり当事業の主な財又はサービスの種類は、戸建住宅、宅地等の開発・分譲等であります。

当該履行義務は、不動産売買取引が完了する一時点で充足する履行義務であり、当該時点において収益を認識しております。取引価格は顧客との契約により決定しており、対価は当該契約に基づき受領しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数 1,000 株

IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 純資産額 78,847 円 14 銭

2. 当期純利益額 △21,152 円 85 銭